



環境・安全・健康を守る化学産業の取り組み
**レスポンシブル・ケアを
知っていますか？**



一般社団法人 日本化学工業協会

レスポンシブル・ケアは社会

言いたいこと、聞きたいこと、 何でも話してみよう！

レスポンシブル・ケア活動の成果を公表して対話を行うことにより、
社会の皆様との相互理解を深めていくことは重要な取り組みの一つです。

(保安防災)

工場での事故や災害発生時の迅速な
広報・連絡、情報発信の体制は？
避難場所の確保・誘導は？



(環境保全)

工場から排出される排ガス
や排水で大気や海、河川が
汚れていないか心配です。



地域対話集会等ではお互いの
立場を理解し合いたいと思
います。皆様の疑問や不安を
解消し、いただいた意見を
生かした活動につなげていき
たいと考えています。



(労働安全衛生)

従業員が安全で衛生的な職場で
働くように配慮してほしい。



(物流安全)

原料や製品を大量に積んだ
トラックが家の前で事故を
起こしたら、どこに逃げれば
よいのですか？



(化学品・製品安全)

工場で作った化学製品が、
私たちの環境・健康・安全
に悪影響を及ぼさないよう
に管理してほしい。

との対話を大切にします

コミュニケーション活動

地域対話におけるコミュニケーション事例

Q1：レスポンシブル・ケア活動の目的は何ですか？

A：化学企業は製造、使用した化学製品により社会に貢献できるように努力しています。化学製品の事業に関わる「環境・健康・安全」への影響を把握し、影響をできる限り低減するための活動です。

Q2：化学企業が行っているレスponsible・ケア活動と、昔から行われている環境安全活動とはどこが違うのですか？

A：従来の活動はどちらかというと法令遵守を重要視し、社会とのコミュニケーションが不足しがちでした。レスポンシブル・ケア活動においては、法律等よりも厳しい基準で社内管理をしたうえ、社会とのコミュニケーションを密にして、社会からの要望や期待に沿って「環境・健康・安全」を確保するように努力しています。

Q3：レスポンシブル・ケア活動を行っていたら事故は起こらないのですか？

A：レスポンシブル・ケア活動を継続することで事故を大幅に削減してきたと自負していますが、残念ながら魔法の活動というわけではありません。今後とも重大事故ゼロを目指して弛まず努力を継続していきます。事故の発生確率を大幅に下げたうえ、事故が発生しても地域住民の皆様への影響を最小化する手順や対応方法を予め考えています。



地域対話集会



地域の皆様をお招きしたイベント



化学実験ショー

レスポンシブル・ケア活動の重要な取り組みの一つとして、その成果を公表して対話を行うことにより、社会の皆様との相互理解を深めています。

会員各社では、地球環境との調和や、化学の楽しさを体験していただく目的で、企業の特徴を活かしたさまざまなコミュニケーション活動を展開しています。



日本化学会の Website で
レスポンシブル・ケアについて解説しています

← https://www.nikkakyo.org/work/responsible_care/436.html



1

レスポンシブル・ケアとは

化学工業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ての過程において、自主的に「環境・健康・安全」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う活動を展開しています。この活動を『レスポンシブル・ケア (Responsible Care)』と呼んでいます。



レスポンシブル・ケアの歴史

- 1985 : カナダでレスポンシブル・ケアが誕生
- 1989 : 国際化学工業協会協議会 (ICCA) 設立、レスポンシブル・ケア活動の世界展開を開始
- 1995 : 日本化学工業協会（日化協）内に日本レスポンシブル・ケア協議会（JRCC）設立、環境・健康・安全に関する活動を化学業界全体で統一し、活発化
- 2001 : JRCC はアジア諸国へのレスポンシブル・ケア活動支援開始
- 2005 : レスponsible・ケア世界憲章を承認
- 2010 : JRCC は日化協と統合し日化協レスポンシブル・ケア委員会（RC 委員会）に組織変更
- 2014 : レスponsible・ケア世界憲章改訂（ICCA 理事会にて承認）

2

レスポンシブル・ケアの実施項目

レスポンシブル・ケア 活動以前

- 法律を守ることが中心
- 積極的な情報公開をしない



レスポンシブル・ケア活動開始後

- 法規制等の遵守はもちろん、環境・健康・安全を守るために正しい活動を自主的に行う
- 社会に情報公開し対話する



環境
保全

保安
防災

労働
安全衛生

物流
安全

化学品
製品安全

環境
保全

保安
防災

労働
安全衛生

物流
安全

化学品
製品安全

地球上の人々の健康と自然を守ります。

設備災害の防止や自然災害対策に努めます。

働く人々の安全と健康を守ります。

物流における事故、災害の防止に努めます。

化学製品の性状と取扱方法を明確にし、顧客も含めた全ての取扱者の安全と健康、環境を守ります。



コミュニケーション
(成果公表、対話)

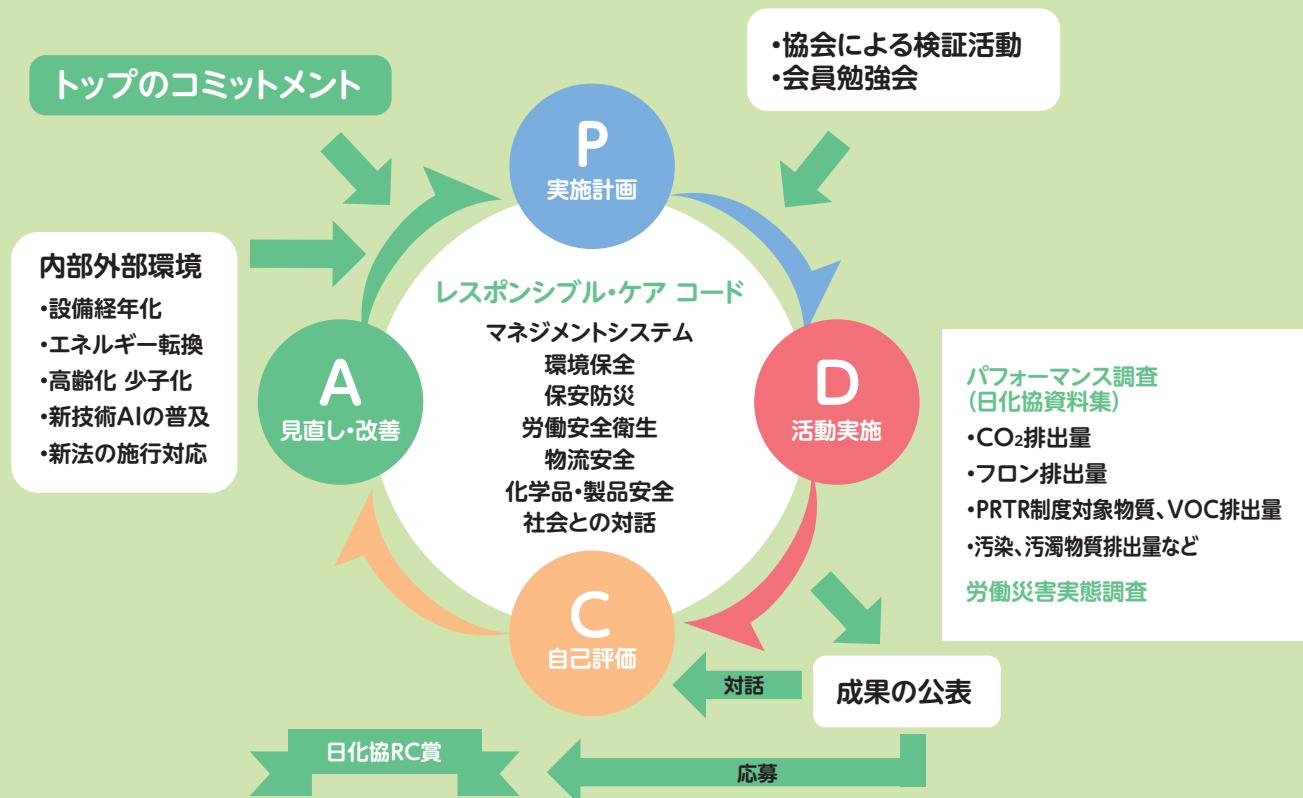
社会

活動内容・成果を公表し、対話を進めます。

3 レスponsible・ケアの進め方

レスponsible・ケアは経営トップの宣誓と、目標の設定に基づいて行う自主管理活動であり、PDCAサイクルに沿って実施されます。

計画の作成(Plan)、活動の実施(Do)、自己評価(Check)、見直し・改善(Act)を継続して行うことにより、常にレベルアップを図っています。



4 レスponsible・ケアのアウトプット

- 地球温暖化防止
- 産業廃棄物削減
- 大気汚染、水質汚濁防止
- 保安防災
- 労働安全衛生
- コミュニケーション(社会との対話)

毎年のパフォーマンスを日化協
アニュアルレポート資料編で公開しています

⇒ <https://www.nikkakyo.org/about/annual>

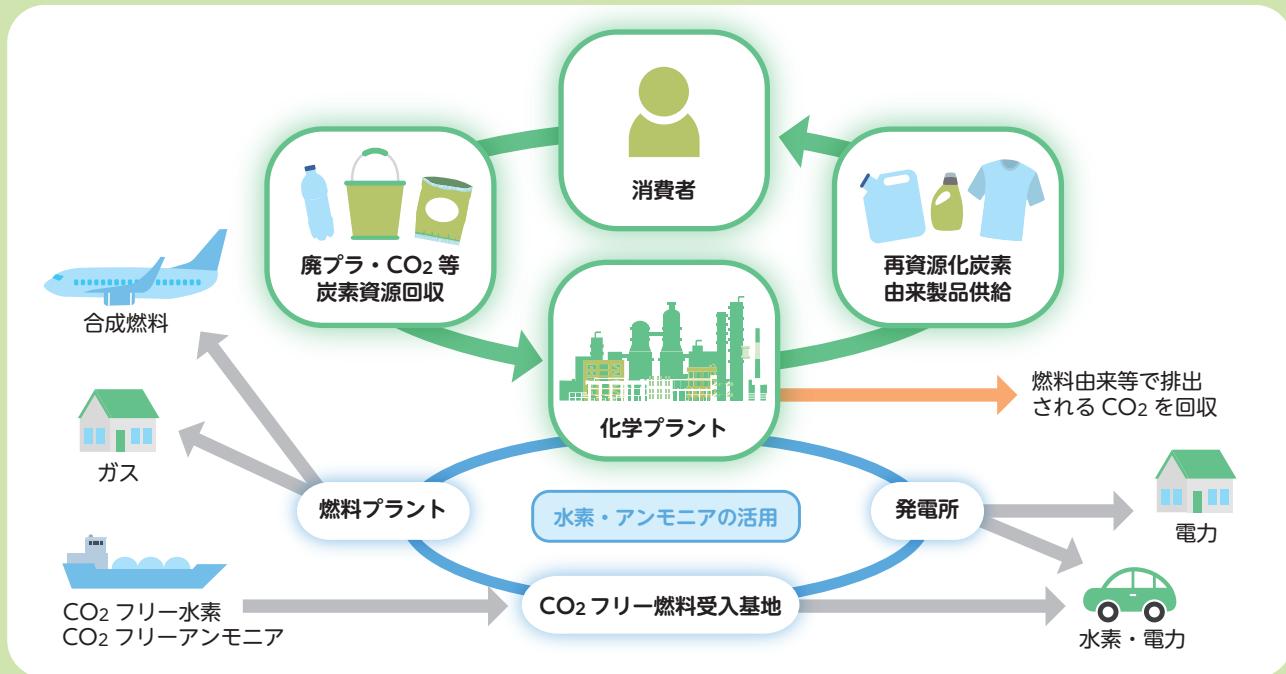


※ PRTR制度 = 「化学物質排出移動量届出制度」の略称
※ VOC = 「揮発性有機化合物」の略称

5

カーボンニュートラル実現構想の一例

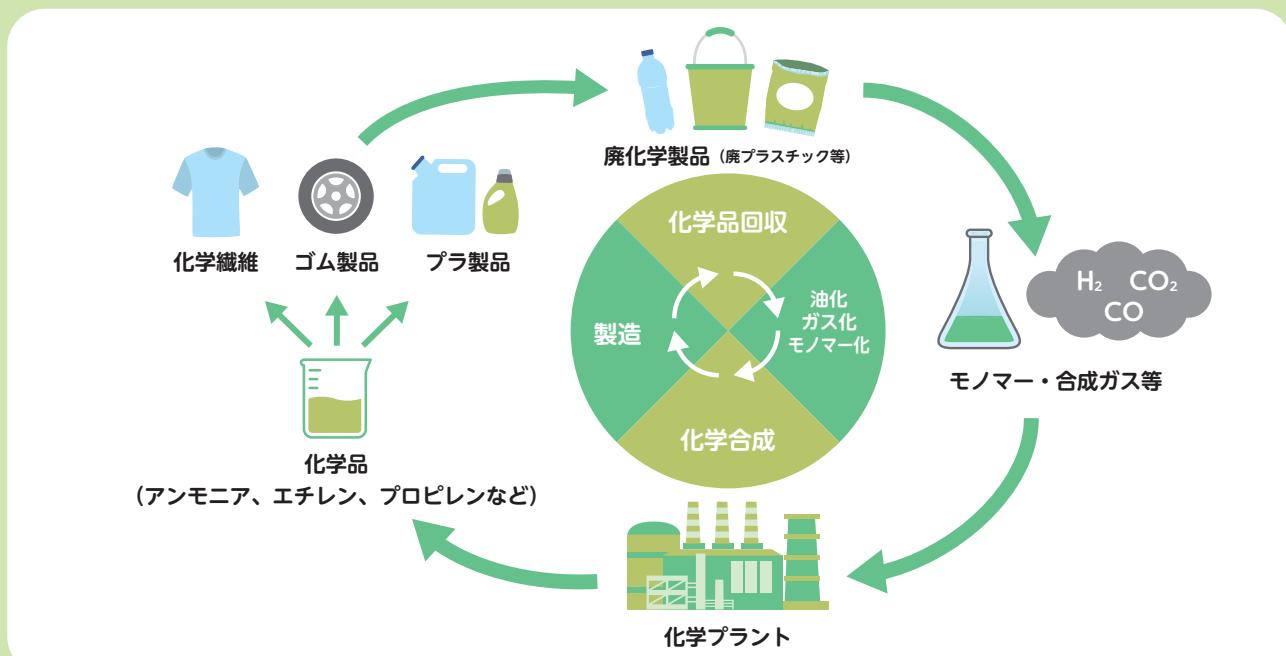
化学産業は、原料として使われる炭素資源を循環させ再資源化します。また、製造に必要なエネルギーをできるだけ脱炭素化することで、カーボンニュートラル実現に貢献します。



6

ケミカルリサイクルのイメージ

化学産業にとって、ケミカルリサイクルは環境保全の一手段です。回収したプラスチック等の化学製品を油化したりガス化したりすることで、循環経済の実現に貢献します。





一般社団法人 日本化学工業協会
レスポンシブル・ケア委員会



レスポンシブル・ケア[®]

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番1号（住友不動産六甲ビル7階）

TEL. 03-3297-2583 FAX. 03-3297-2615

https://www.nikkakyo.org/work/responsible_care/2028.html

この印刷物に使用している用紙は、
森を元気にするための間伐と間伐
材の有効活用に役立ちます。

